

今日の富士山

つかはら にはち

当、相模にては晴天続きのお正月を満喫。もつとも幼き頃に感じた正月らしさは微塵も無い。

羽突き之音もなければ、凧を上げる子供もいない。しめ飾りをしている家もまばら。国旗を挙げている家なぞ何年も見たこともない。それでも白い頂きの富士山は今日も年の初めを祝うが如く微笑んでいるかのようです。

さて、読者の皆様におかれましては良き年を占うかのような初夢となりましたでしょうか。

あれほどに目に焼き付けた師走の富士山。珍しいほどにハッキリとそびえる正月の富士山。箱根駅伝の中継や正月特番の至る所に映し出される富士山。初夢に富士山を見ることが出来たのかさえ判らなくなるほどに富士山のオンパレードである。

それにしても、うんざりするほどの正月特番。どのチャンネルもさしたる代わり映えのしないバラエティ。つまらないテレビを観ているよりはと毎年出

かける初詣。

ここ数年、次女がお世話になっている善福寺様にしかけています。毎年大晦日に行われる法要の後に除夜の鐘を撞き、甘酒をご相伴。さらに南無阿弥陀仏と墨書された掌サイズの凧を記念品にいただき自宅の仏壇に治めている。

それとは別に地元の八幡様、出雲大社の相模分司、東京築地の本願寺分院、大雄山最乗寺と、毎日のようにしかけるのが恒例となっている。

混雑を避けての締めくくりは鎌倉鶴岡八幡宮。但し、おみくじを引くのは出雲大社のみに行っている。当たると信じているわけではないが、色々と迷うこととなるのが嫌だからだ。何が書かれていようと縄結びの後、ありがたい御札を戴いて祀っている。